

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンライフTERAKOYA		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 1日		～ 2024年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年 9月 1日		～ 2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多国籍の子どもたちを支援しており、学習面を含めて、本人様や保護者様のニーズに合わせた支援をしている点。 また、ニーズに合わせ、できる限り送迎時間の調整を行ったり、支援内容を変更している点。	・積極的に保護者様からの要望の聞き取っている点。 ・聞き取った要望に対して、どのようにしたら実現できるかスタッフで話し合う点。	・学習面など、個人差が特に大きい部分に対し、柔軟に対応していく。
2	・多国籍の利用者に合わせたイベントや、日本の四季に合わせた行事等を行っている点。	・準備に時間が取れないこともあるので、簡便にできることを探したり、効果の高い物を選ぶようにしている点。 ・利用者だけでなく、スタッフも楽しめるようなイベント運営を心がけている点。	・スタッフの時間のやりくりを上手に行い、準備に時間をかけられるようにしていく。
3	・他事業所や相談支援、市役所等と連携し、ネグレクトや虐待の防止といった、利用者様の利益になるような行動を取っている点。	・利用者様の服装や見た目の写真を撮ってスタッフ間で共有したり、お休みが続いている際には、すぐに各所へ連絡を取っている点。	・スタッフ間の情報共有をさらに緊密に行い、全ての職員が同一の対応を取れるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・空間が広くないこと。	・物が多く、利用者様も多くなった点。	・支援内容に合わせて、移動できる内装を移動させる。 ・支援内容に合わせて、利用者をグループ分けしていく。 ・利用者様に合わせて、必要なものを出し、不必要なものを片づけていく。
2	・換気扇等がなく、感染症対策が弱いこと。	・建物の構造として、窓や換気口が少なく、空気の通り道が少ない点。 ・手洗いなどの水場も少ない点。	・扇風機やあるものを上手く利用して、換気を行う。 ・外側の水場も利用しながら、対策を行っていく。
3	・児童発達支援、放課後等デイサービスの両方を運営しており、職員の時間がとりにくいこと。	・書類仕事が多く、一日の利用者も多くなったため、相対的に職員が準備や研修などで使える時間が少なくなった。 ・送迎、日々の保護者様とのやり取りで多くの時間を使ってしまう点。	・効率的な時間の使い方。 ・保護者様とのやり取りも、まとめて行えるように工夫する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ワンライフ TERAKOYA

公表日 2024年 11月 18日

利用児童数

18名

回収数

18

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16		1	1		物理的なスペースを広げることは難しいですが、これからも机の移動等も随時行って、広いスペースを確保するよう努めてまいります
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18					これからも適切な職員配置になるように努めてまいります
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16			1		より良いものになるように、これからも努力してまいります
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17			1	写真で見る限りいつもきれい。	ありがとうございます 今後も掃除と片付けを心がけてまいります
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					専門性、資格を持った職員を配置し、保護者様だけでなく、スタッフ同士でもコミュニケーションを取りながら支援を続けてまいります
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15			3		公表されているプログラムに加え、本人、保護者様のニーズに合わせて柔軟に対応させていただいております
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17			1		その子の成長に合わせた計画を、本人またはご家族のご意向に合わせて作成してまいります
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17			1		個別支援計画書の内容については、本人、保護者様のニーズやスタッフの意見等を踏まえて更新し、設定させていただいております
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					作成の際のニーズだけでなく、日々の成長を加味した支援が行えるよう、保護者様からの聞き取りをし、またスタッフ間でコミュニケーションをとって支援をするよう努めてまいります
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17			1		スタッフ間のコミュニケーションを密にし、利用者様のニーズに合わせた活動が行えるように努めてまいります
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	16		1	1		イベントで地域の施設を利用しておりますので、今後していきたいと思っております
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					ご理解頂きありがとうございます 今後も丁寧な説明を心がけてまいります
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17			1		分かりやすさに重点を置きながら、よりいっそう具体的に、丁寧に説明してまいります
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1		3	仕事の関係で普段は行かないけど、あることは知っている。	今後も多数の方が参加できるように、機会を設けてまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	16	1		1		当日の支援の状況を毎日報告しておりますが、より一層緊密に連絡を取り合っております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15		2	1		なかなか会えない保護者様もいらっしゃるのので、メッセージや電話など対面に限らない方法で対応してまいります
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17			1		これまでも日々の支援内容を保護者様に共有してまいりましたが、これまで以上に共有してまいります
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	1	1	1		保護者参加、きょうだい参加のイベントの充実をはかってまいります また、送迎できょうだいの方と対面する際にも、利用者様と同様の視点を持って対応させていただいております

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			1	保護者様からの相談に個別対応をさせていただいておりますが、平日頃から何か困っていることはないか、という視点を持ってやりとりをするように努めてまいります
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17				通訳のできるスタッフを配置する他にも、翻訳アプリの利用や写真を使うなど、正確な情報伝達ができるよう努めております
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17				Instagramなどでイベント、支援の様子などの情報発信を行っております
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			1	今後も個人情報の取り扱いに関して、同意書をいただきまして、慎重に取り扱いをしてまいります
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14			3	通報手順や感染症対応のマニュアルなどが策定され、設置されておりますが、周知が十分にされていないのが現状です。今後、皆様に周知していくよう努めてまいります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			3	事業所では月一回の避難訓練を実施しておりますが、参加される方以外にも活動を知っていただけるよう努めてまいります
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			2	送迎時の安全確保も含め、利用者様がより安全に利用いただけるように努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			1	これからも、事故等発生した際には、写真等も含めて速やかに保護者様に報告できるように努めてまいります
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18				一日一日、より深く信頼いただけるように努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18				夏は疲れるから行きたくないと言っていつでも通所が楽しみになるように、支援内容を充実させてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				今後もより良い支援が提供できるように努めてまいります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ファンライフ TERAKOYA		公表日		2024年 11月 18日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	随時机を動かすなど、利用者、スタッフの人数により広くスペースを利用できるようにしている	人数が多くなってきて狭くなってきた。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		昨年のアンケートを受けて、適切な人数になるように調整している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	子どもたちに視角から伝わるように、絵やイラストを利用している	段差が少しあるので、工夫してバリアフリー化したい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		毎日の清掃を心がけるとともに、利用者様にとって危険な箇所がないか点検を行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		大きい子と小さい子とを部屋分けし、それぞれが集中できる環境を作っている		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	2	朝礼などで、当日の業務や改善点を伝えあっている	特定の職員に偏るため、広く参画できるようにする。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	毎日のメッセージで気になることがあれば教えてほしいと伝えている	保護者、本人の意向を上手に支援に反映させたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		朝礼などの機会を捉えて、職員の意見や提案をスタッフ全員で共有し、建設的な方向で検討を行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1	相談員の来所時に、他事業所などの取り組みを聞き、取り入れている	第三者による評価の導入も検討しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		スタッフの担当等を調整し、全員が研修を受けられるようにしている		
適切 な 支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1	毎月プログラムを作成し、スタッフがやるべきことが分かるようにしている	公表を開始しました。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	1	子どもの気になる点をスタッフ間で日々共有している	勤務の日程等で伝わりにくいことがあるため工夫する。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		スタッフにモニタリングを行い、全員の共通理解のもとで計画が作成されている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	子どもの良い所、気になる点、行動修正すべき点などを記入している	より使いやすく改善していきたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	家族にモニタリングするとともに、スタッフからのモニタリングも踏まえ、計画に取り入れている	新しいガイドラインを全員が理解できるようにする。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	作成したスタッフだけでなく、他のスタッフ全員からやりたいことや改善点を聞き、取り入れている	チームによる活動を増やしていく。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		全てのスタッフが支援内容を考え、取り組んでいる	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	時間を分け、集団活動と個別活動の良い点を取り入れている	職員が全員同じように理解できるように訓練する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		職員もグループで対応できるよう、情報共有を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	家族へのメッセージや連絡帳を書く際にスタッフ間で意見を交わしている	支援前後の打ち合わせを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		保護者様にSNS等で支援の内容や利用者様の状況を伝えるとともに、記録として残している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1	保護者と連絡を取り、家での状況を確認し、支援内容や計画を見直している	定期的にモニタリングを行って見直している。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	1	利用者のこれからの生活に必要なスキルを獲得できるような支援内容を考えている	特定の活動のみにならないように、複数の要素を組み合わせている。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	9				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	気になる利用者様に関しては、市役所や相談員様と連絡を取り合っており対応している	今後機会を増やしていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		利用者様から情報を得ているほか、学校とも連絡を取り合っており調整をしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		送迎時に困ったことや出来事を伝えている 送迎時に保育園での様子を聞いている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	2	市の研修や相談支援員からの助言を受けることがあり、それをスタッフで共有している	今後機会を増やしていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	2	イベントで地域の施設を利用しているので、今後していきたい	今後機会を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	2	今後積極的に参加したい	他事業所との交流を増やしたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		SNSを通じて、日々の支援内容を写真等を含めて保護者様に共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1	家族参加が可能なイベント等を計画している	希望すれば家族も参加できる機会を増やしたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に行っているほか、問い合わせがあればその方のニーズに合わせて随時行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		家族にメッセージを送り、本人が何を求めているか確認しながら支援している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		言語的に伝えることが難しい場合には、ブラジル人スタッフを挟んで伝えてもらっている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	9	1	保護者参加のイベントなどで子どもと一緒に参加してもらっている 保護者参加イベントできょうだいも参加できるものには参加してもらっている	希望すれば家族も参加できる機会を増やしたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		SNSを通じて。日々の支援内容を保護者様に共有している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	1	イベントで地域の施設を利用しているので、今後していきたい	地域住民を招待する機会を作りたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	避難訓練を月1回実施するなど、訓練を行っている	実践的な訓練を増やしたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		避難訓練を月1回実施するなど、訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	1	入所前または入所後に確認している。	情報共有をさらに進めたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	2	クッキング等で利用者様の口に食べ物が入る場合、必ず事前に保護者様に確認をとっている	まだそういう児童はいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ヒヤリハットの報告をした本人だけでなく、朝礼等で各自気を付けることなどを考え、共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	入社時に研修を行い、兆候のある利用者についてスタッフ間で意見を交換している	対応できるようにしておきたい。	